

阪神淡路大震災30年シンポジウム

入場  
無料

# 震災における 情報ネットワークの役割 ～次代のITエンジニアに送るメッセージ～

2025/3/26 Wed. 15:00-17:00  
@神戸電子専門学校北野館B1階ソニックホール  
住所 | 兵庫県神戸市中央区北野町1-1-6

- 主催： 神戸電子専門学校、神戸情報大学院大学、神戸国際大学  
■後援： 兵庫県、神戸市、公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構

阪神・淡路大震災から30年一。

あの日、被災地は「陸の孤島」と化し、情報が遮断されました。そんな中、ハンディビデオカメラやパソコン通信を活用した「情報ボランティア」が誕生し、デジタル技術による災害対応の可能性が広がりました。

そして今、災害は頻発し、デジタル技術は進化しています。30年の節目に、過去の経験を振り返り、これからの災害対応を若いITエンジニアの皆さんと考えます。

内容 モデレーター：大月 一弘（神戸大学名誉教授）

- A. 「被災地から国内外へのWWWによる情報発信」  
松崎 太亮（神戸国際大学副学長）、芝 勝徳（神戸外国語大学名誉教授）
- B. 「被災地の情報化の試み、今でいうDXやSNSの1995年版」  
山本 裕計（アイティワード株式会社）
- C. 「神戸電子専門学校デジタルメディアセンター（当時）に  
集結した情報ボランティア」  
福岡 賢二（神戸情報大学院大学学長代理）、  
小畑 雅英（神戸電子専門学校非常勤講師）
- D. 「防災情報システムの変遷 当時から現在まで、そして未来に向けて」  
行司 高博（公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構研究戦略  
センター研究調査部長、防災DX官民共創協議会自治体部会長）

司会：乳原 佳代（神戸情報大学院大学客員准教授）

申込方法はこちら



※オンラインでの視聴可能です

BE KOBE  
震災30年を  
未来につなぐ

■問い合わせ先 | 学校法人コンピュータ総合学園 企画部（担当：西村）  
TEL：078-242-0288 / E-Mail：nishimuray@kobedenshi.ac.jp



大月 一弘氏

モデレーター：  
大月 一弘（神戸大学名誉教授）



松崎 太亮氏



芝 勝徳氏

## A.「被災地から国内外への WWWによる情報発信」

松崎 太亮（神戸国際大学副学長）  
芝 勝徳（神戸外国語大学名誉教授）



山本 裕計氏

## B.「被災地の情報化の試み、 今でいうDXやSNSの1995年版」

山本 裕計（アイティワード株式会社）



福岡 賢二氏



小畑 雅英氏

## C.「神戸電子専門学校デジタルメディアセンター （当時）に集結した情報ボランティア」

福岡 賢二（神戸情報大学院大学学長代理）  
小畑 雅英（神戸電子専門学校非常勤講師）



行司 高博氏

## D.「防災情報システムの変遷 ～当時から現在まで、そして未来に向けて～」

行司 高博  
（公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構研究戦略センター  
研究調査部長、防災DX官民共創協議会自治体部会長）



乳原 佳代氏

司会：  
乳原 佳代（神戸情報大学院大学客員准教授）